

教育委員会
だより
 ～地域とともに9年目～
大田口小学校
『育てて売って体験活動』

毎年恒例の、大田口小学校『育てて売って体験活動』が、12月1日に高知市ひろめ市場で行われました。

毎年楽しみに来てくださるお客様もでき、心に残る出会いもありました。

今回は、販売までのゆず取りやゆず味噌作りなど、子どもたちの活動を紹介します。



2006年



2008年



2009年



2010年

ゆず取り

大田口小学校 六年

藤原 聖人

今日は、ゆず取りです。

とらせてもらう

のは秋山さんのゆず農園です。

秋山さんには、昨年もお世話になっていたので、

二度目になります。

まずは、はじめのあいさつをむつ君がしてくれました。そのあと、どんなゆずが出荷できないかをおさらいしました。写真で教えてくれて、その写真を見ると（もったいないな）と思いました。

そして、ゆず取りを始めました。手ぶくろをしてはさみとかをもつて取り始めました。一つ目はすぐきんちようしました。だけど、一かごいっぱいになるころには、慣れて、パッパッと取れるようになっていました。

取っていると上の方から声が聞こえてきて、三年生が来ました。三分位すると三年生がおりてきました。

ときどき、とげのささったゆずなどがあるので、ゆずのにおいですが、きいやされて、仕事はかどりました。



十二時近くになると、学食を食べる三年生たちは帰って行きました。なので、残りは八人になりました。まなかちゃんが、「校長先生の車の音がする。」と言ってくれたので、午前の部は、筒井先生の、

「ビッピー。」という笛の合図で終了しました。

お昼ご飯は、ゆず畑を見ながら食べました。やく一時間ぐらい休んで、ゆず取りを始めました。一班の方は、ゆずしほりをしに行きました。お昼の時に、上から見て、（上の方に残っているな。）と思っていたので、ゆずの木に登って取ってみました。少しとげがささって痛かったけど、ほとんどが大きめでいい黄色の玉でした。一かしょぐらい回ってみました。

向こうの方で、「二班しほりに来いや。」という声が聞こえたので、走っていきました。

ゆずしほりでは、まなかちゃんと吉本先生が、はまっていました。

そのあとは、五十分ほど取って終りをしました。今日は、ゆずをしほることができ、五十コンテナ以上取れたので良かったです。

ヘルスメイトの
おしゃべりコーナー

実際の野菜で350gを計量中



持参していただいた味噌汁の塩分を計測中



大豊町産季節の野菜の他、ヘルスメイトが作成した野菜のあみぐるみも展示。本物そっくり!?

「減塩」をテーマに、ご家庭のみそ汁の塩分計測、減塩みそ汁の試飲、野菜350g重量あてクイズなどを実施しました。

減塩みそ汁は、かつおといりこで濃いめのだし汁をとり、みそを控えて塩分濃度0.7%にしましたが、だし汁が利いていたのか、来場者からは「うちのより味が濃いね」などの感想がありました。野菜コーナーでは、ぴったり350gの重さをあてた方もいたり、350gの見本野菜を見て「これ以上は毎日食べているよ」という方もいました。

約100人の方がヘルスメイトコーナーに立ち寄ってくださいました。ありがとうございました。

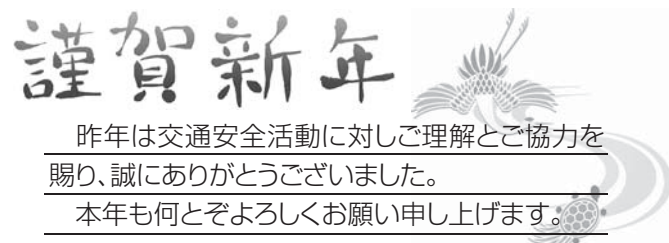
今年も、ヘルスメイトは地域の健康づくりのために活動いたしますので、お近くでヘルスメイトが活動する際には、ぜひご参加ください。



おもてなし勤王党の皆さんにも、ヘルスメイトの活動を紹介できました

問い合わせ先 …大豊町食生活改善推進協議会(住民課健康づくり班内)

交通安全ニュース



昨年交通安全活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。

各地で盛ん！
「受講特典講習」

講話を聞く機会を増やし、高齢者の事故を減らすことが目的ですが、なおかつ量販店でのお買い物時にポイントを多く付加されるなどの特典付き講習を受講して下さる方々、地域が増えています。

地域での集まりや、なかよしグループなど、65歳以上の高齢者(免許有無無関係)の方を対象に、出前講習を実施しています。まだ、受講されていない方々もお気軽に、お問い合わせ、ご連絡ください。

受講 ⇒ 修了証授与 ⇒ お買い物ポイント増
 ≪ 1 年 経 過 ≫

その横断大丈夫？
急がば回れ

昨年、大豊町川口で横断中の高齢男性が車と接触する事故が発生。

目的地に行くために、近道を…と、つい斜めに道路を横断してしまうことはありませんか？ 斜めに横断すると、それだけ車道上にいる時間が長くなり、事故に遭う危険性も増します。

慣れた道、自分は絶対事故に遭わないからという慢心は危険です。

日ごろの行動を振り返り、無事故の一年を。

香美署管内連絡便

山間部の寒さが厳しい時季となりました。

橋の上・山の陰地・トンネルの出入り口など思わぬ場所で凍結していることがあります。

車の運転や散歩などは油断せず、転倒やスリップ事故を起こさないように注意しましょう。

